

一般社団法人千葉市認知症介護指導者の会 第3期 第6回 定例理事会 議事録

1. 開催日時 令和4年8月17日(水) 19時20分~20時55分
2. 開催場所 オンライン会議 (Zoom 使用) にて開催
3. 理事・監事の数 理事数5名 監事数1名
4. 出席者 [理事] 梅本聡 永嶋丈晴 高橋秀明 滝澤秀児
5. 議長 梅本聡 [会長]
6. 議事録作成者 梅本聡 [会長]
7. 議事

1. 活動報告・検討等

(1) 認知症×セミナー 第3回幹事 (永嶋丈晴)

第3回 (2022年8月27日開催) の件について永嶋幹事より以下の報告があった。

○本日(8/17)現在の申込者数 25名 (うち会場参加7名)

○開催当日までの流れと役割分担を作成した。意見等をいただきたい。

(出された意見やこの場にて決定した内容)

・司会 石井紀明氏から日向雅史理事に交代。

石井氏は当該セミナーの幹事であるため、裏方として細かな役目を担っていただくため。

・写真撮影担当 日向雅史理事が司会担当となったため、当日参加しているスタッフ(指導者)個々が適宜撮影を行うこととした。

・スタッフ(指導者)の集合時間 8:30 から9:00 に変更。

○セミナー開催前日(8/26)に、永嶋・滝澤秀児理事(当該セミナーでオンラインを担当)にて会場である千葉市社会福祉研修センターを訪問。LIVE 配信の予行練習等を行う予定である。

また、同日 19:00 よりオンライン(Zoom)にて当日参加スタッフ(指導者)との前日打合せを行う予定である(この打合せによるオンライン実施は、当日の LIVE 配信の予行練習も兼ねる)。

○新型コロナウイルスの感染拡大「第7波」の影響により、多くの介護施設・事業所が職員の感染、濃厚接触による自宅療養(待機)、それに伴う出勤者の確保等に苦慮している。

そのため、これ以上の参加者確保はかなり難しい状況ではあるが、今後も Twitter 等を活用して広報を行っていく考えである。

(2) 認知症×セミナー 第4回幹事 (滝澤秀児)

※本セミナー幹事：石井紀明氏・滝澤秀児理事

一 第4回の件について資料(本議事録に添付)にもとづき、滝澤幹事より以下の報告があった。

- 計画しているテーマ「認知症と未来を担う介護学生」
- 開催予定日：令和4年12月17日(土) 13:00~16:00
- セミナー要旨：別紙添付の資料参照
- プログラム案：別紙添付の資料参照

二 その他幹事からの報告ならびに出席者から出された意見等

- 福祉専門学校教員・学生が講演を行う計画になっているが、永嶋副会長、高橋理事はそれぞれで福祉専門学校の講師を務めている。そちらの学校にも協力を要請し、複数校からなる講演等を企画してはどうか。検討することを決定した。
- トークセッション&質疑応答は、オンライン(LIVE)で多くの学生さんに参加してもらいたいと考えている。
またその際は、大きなスクリーンにオンライン参加してくれている学生さんたちを映してトークセッション等を行いたいと考えている。
- 本セミナーも過去3回の認知症×セミナーと同様に、千葉県介護人材確保対策事業費補助金の申請を行う予定である。
- 梅本会長より、千葉県介護人材確保対策事業費補助金の申請だが、これまでの認知症×セミナーの補助対象事業は、「介護人材キャリアアップ研修支援事業」として申請を行っていたが、第4回はテーマや要旨の方向性が過去3回のセミナーとは違っているため、幹事は改めて当該事業の要綱等を読み込み、同事業にて申請を行うのか、別事業での申請を行うのか、検討して理事会に報告してもらいたい。滝澤理事、了解する。

(3) 支援専門職 SCHOOL 運営部会 (高橋秀明)

高橋部会長より、以下の報告があった。

- 令和4年7月10日(日)に第3回運営部会を開催。
 - ・これまで SCHOOL は、個人がプラン購入して SCHOOL が企画したセミナー・教室・ゼミ等を利用してもらう構成であったが、新たに「法人・施設プラン」を導入することとなった。
 - ・「法人・施設プラン」の内容や価格等については概ね企画できている。取りまとめを高橋が行う予定である。

(4) 防災・減災等マニュアル策定部会 (永嶋丈晴)

永嶋部会長より、以下の報告があった。

- 梅本会長より
 - ・期日が決まっている認知症×セミナーの開催優先
 - ・当部会に参画していない他指導者は支援専門職 SCHOOL の企画・運営、広報・IT 部

会の運営(ホームページ・Twitter・LINE の更新や管理、YouTube チャンネルの動画制作等)を担っているため、当部会に協力することが難しい

・新型コロナウイルスの感染拡大「第7波」の影響により、指導者各自、本業が多忙であることなどを踏まえ、当部会の活動を一旦休止することの提案があった。

提案を受け入れ、当部会の活動を一旦休止することとした。

(5) 広報・IT 部会 (滝澤秀児・梅本聡)

一 滝澤理事より、公式 YouTube チャンネル「認知症と介護と〇〇TV」について、以下の報告があった。

○支援専門職 SCHOOL の CM 動画(Short)を制作。R4/7/19 日公開

○第2回認知症×セミナー「認知症と行方不明」の講演を編集し、動画を制作、公開した。

・公開 R4/7/16 公開

【認知症と行方不明：Vol.1】認知症の病態から考える「行方不明」になる背景とは

・公開 R4/7/30

【認知症と行方不明：Vol.2】認知症・行方不明、自治体としての取り組み

・公開 R4/7/22

【認知症と行方不明：Vol.3】行方不明を防ぐ・見つける ICT の最新事情を知る

【認知症と行方不明：Vol.4】在宅における認知症と行方不明について考える

【認知症と行方不明：Vol.5】介護施設における認知症と行方不明について考える

二 梅本会長より、以下の報告があった

○滝澤理事が開設してくれていた当会の「LINE 公式アカウント」のバナーを、当会公式ホームページのトップに公開した(R4/7/18 より)。

資料

認知症と未来を担う介護学生

開催日時

令和4年12月17日(土) 13:00～ 開場 12:30

ターゲット

すべての介護・福祉従事者、大学・福祉専門校関係者、一般市民

セミナー要旨

介護業界では長らく人手不足が取りざたされています。そのひとつとして新人職員の定着率が低い現状があります。介護労働安定センターの統計によると勤続3年未満に退職してしまう新人職員の割合は約6割を占めています。なぜ新人職員は退職してしまうのでしょうか？大学での介護福祉専攻や介護福祉専門学校を卒業し、希望の職場に就職する。就職後、認知症ケアの難しさに直面する、また「こんなはずじゃなかった」「やりたい介護と違っている」と新人職員と福祉現場とのミスマッチが起きている可能性が要因のひとつとして考えられます。そこには学校側が目指していること、学生の思い、福祉現場の実情、それぞれのすれ違いが起きているかもしれません。介護福祉の未来を担う学生が各々に目標、希望を持って長く続けられるような職にするために、関係機関はそれぞれの立場を踏まえたうえで共通認識を持つ必要があると思われます。そこで、今回のセミナーでは介護福祉学校、学生、そして介護現場に関わる認知症介護指導者によって、それぞれの認識や思いを理解し、さらに未来の介護学生に向けてどのような教育、組織作りを目指していくのが望ましいのかヒントになるようなセミナーを開催します。

プログラム

13:00～13:05	開会のあいさつ プログラム確認	(一社)千葉県認知症介護指導者の会 メンバー
13:05～13:45	講演1 「認知症ケアになぜ人材が必要？」	一社)千葉県認知症介護指導者の会 石井紀明
13:50～14:30	講演2 「介護福祉学校の目指す介護職人物像とは？」	専門学校 新国際福祉カレッジ 教員
14:30～14:45	休憩	
14:45～15:05	講演3 「未来の介護や職場に望むこと」	専門学校 新国際福祉カレッジ 学生 2名 [進行] (一社)千葉県認知症介護指導者の会 石井紀明
15:05～15:15	次回セミナーの案内	(一社)千葉県認知症介護指導者の会 理事 滝澤秀児
15:15～15:25	休憩・会場準備	
15:20～16:30	トークセッション&質疑応答 「未来を担う介護学生」 認知症指導者&福祉教員&学生による、福祉現場の現状 未来の介護についてセッションしよう ※オンラインもあり	[コメンテーター] ・専門学校 新国際福祉カレッジ 教員 1名 ・専門学校 他 教員1名 ・介護福祉学校生 多数 ・(一社)千葉県認知症介護指導者の会 メンバー複数名 [コーディネーター] 千葉県認知症介護指導者 石井紀明
16:30	閉会のあいさつ	